

令和元年度 地域の寺子屋推進フォーラム実施報告



日時 令和元年12月21日(土) 12:00~17:00

場所 川崎市立土橋小学校

主催 川崎市教育委員会

共催 川崎市地域教育推進協議会、学校・家庭・地域の連携協力推進会議

参加者数 第1部 児童280名
第2部 約100名

第1部 親子体験教室

プログラム	講師
自分で煎茶を入れて飲んでみませんか?	雪月風花の会 木村 治代 さん 他4名
バルーンアートに挑戦!	Tokyo Balloon Decorations 間宮 弘美 さん
みんなで映画をつくろう!	映画監督 土持 幸三 さん 【協力:「映像のまち・かわさき」推進フォーラム】
バスケットボール教室	川崎ブレイブサンダース 岩崎 淳 さん 他2名
3D表札を作ろう!	一般社団法人ディレクトフォース 戸田 邦男 さん 他9名
箏にさわろう♪音楽を作ろう♪	土橋小 ^{こど} 箏クラブ 大原 修子 さん 他4名
アニメーションダンス・チャレンジ教室	プロダンサー KIHARA RYU さん 【協力:一般社団法人ピッカ】

【自分で煎茶を入れて飲んでみませんか?】

- ・とても楽しかった。またやりたい。
- ・おいしいし楽しかった。お菓子もあってよかった。
- ・きちんとしたお点前ができたので楽しかったです。
- ・ていねいに教えてくださってありがとうございます。機会があればまた参加したい。
- ・時間をかけて入れたお茶家でもやってみたくなりました。
- ・お客さんに「おいしい」と言ってもらえてうれしかった。
- ・自分で入れたお茶が飲めて楽しかった。



- ・煎茶を入れることは初めてだったので、一つひとつの作法や用具の名前、置く場所、順番などもわかって楽しかった。
- ・思った以上に苦かったけれどそれぞれの味を楽しめてうれしかった。
- ・申し込んでから今日まで、とても楽しみにしていたようです。
- ・本人も「めっちゃ楽しかった。来年も参加する」とのことです。ありがとうございます。
- ・自分もお茶の道具や所作についてあまり知らなかったので、良い勉強になりました。
- ・先生が子どもに応じて道具の位置を気遣ってくださったので安心して見ていられた。
- ・家でこんなことをしたことがないので、とても新鮮でした。また、参加したいと思った。

【バルーンアートに挑戦！】

- ・面白かったし、楽しかった。かわいらし雪だるまができたので良かった。
- ・雪だるまのマフラー作りが、難しかった。楽しかった。
- ・難しい結び方があった。
- ・バルーンをねじるときがドキドキした。
- ・初めて挑戦したバルーンアート難しかったけれど楽しくできた。
- ・犬とか動物が作れると良かった。
- ・もっといろいろなものを作りたい。
- ・最初なかなかコツがつかめませんでした、わかりやすく教えてもらいにぎやかで楽しかった。
- ・普段はみているばかりのバルーンアート、親子で夢中になり挑戦できてとても楽しかった。
- ・風船が割れそうでドキドキしながらの作業でしたが、可愛い作品が作れて楽しかった。
- ・始まる前はどのようなものが作れるかドキドキした。何回も割れて大変でした。いい経験になった。
- ・結び方のコツを習えてよかった。大まかな流れのプリントなどの用意があるとよりスムーズに進行できた。
- ・バルーンをていねいにご指導いただき、子どもも楽しく作ることができました。
- ・部屋の前や中に飾ってあるディスプレイがとてもよかったです。
- ・楽しかったけど、ちょっと怖かった（まわすのが）。ていねいに教えてくれてよかった。
- ・季節に合ったテーマで作品作りができ、子供にやさしく接してくれたのでとてもいい講座でした。
- ・子どもができなくて先生に聞いたら落ち着いてていねいに教えてくださりありがたい。
- ・年末に親子で素敵な思い出を作ることができました。
- ・少し子どもには難しかったかもしれませんが、シール、顔を描くところは喜んでいました。
- ・簡単すぎず習う楽しさもあるので良かった。応用してこれからもバルーンアートを楽しみたい。



【みんなで映画をつくろう！】

- ・すごく楽しかった。面白かった。ドキドキした。またやりたい。
- ・難しかったけどうまくできるように頑張った。楽しかった。
- ・自分で役を演じたりみんなと協力したおかげで楽しい映画づくりができた。他のもまたやりたい。
- ・美術が大変だけど、楽しかった。
- ・映画を初めて作れてよかったです。
- ・少しだけセリフをまちがえたけど楽しくできた。難しかった。



- ・ナレーションや監督など様々な体験ができたのがとてもよかった。
- ・照明が面白かった。
- ・照明がこんなに大変だと思っていなかった。知れてよかった。
- ・次は演技したものを編集する体験をやってみたい。
- ・カメラマンをやって難しかった。今度は俳優をやりたい。
- ・本格的な機材も見れてよかった。大変さや面白さを親子で体験できていい時間だった。
- ・初めて会った人たちで2時間半後にあそこまで仕事をさせるとはとてもいい勉強になった。
- ・短時間で本格的な映画を作れて驚きました。映画をyoutubeでアップして頂けると嬉しい。
- ・生き生きした子供の姿にこういう学び体験の大切さを認識できた。

【バスケットボール教室】

- ・面白い。良かった。
- ・コーチの教え方が上手だったので、エクスルーやビハインドもできるようになった。また教えてもらいたい。
- ・パスやシュート、ドリブルがうまくなってうれしい。また来たい。
- ・バスケットに興味があった。ゲームができ楽しかった。
- ・コーチのボールもブロックでき楽しかった。
- ・試合で大人用ゴールにシュートを決めてうれしかった。
- ・キャッチができるようになりたい
- ・楽しかったのもう少し長い試合時間が取れるとよかった。
- ・動きをどうしていいかわかって、シュートも入って楽しかった。
- ・初めてのバスケット、基礎から学び楽しんで参加できた。楽しめた。また参加したい。
- ・コーチの皆様がやさしく楽しく教えてくれて、一生懸命な姿が見られた。ありがとうございました。
- ・ミニバスをやっているが、いつもとは違う練習が体験でき、刺激的。これからもイベントをやってほしい。
- ・プロのコーチの話や普段と違う練習をするととてもいい刺激がもたらされた。2時間やりたかった。
- ・ディフェンスやドリブルなど丁寧に教えてもらいうれしかった。ブレイブサンダースにも興味を持った。
- ・バスケットを始める良いきっかけとなればと思う。ありがとうございました。
- ・子どもたちの今後の意欲につながると思う。
- ・コーチの笑顔が素敵でした。



【3D 表札を作ろう！】

- ・普段なかなか体験できないことをやって楽しかった。
- ・発泡スチロールの上に卵を落としても割れないことや、乗るような体験もあって楽しかった。
- ・発泡スチロールにはいろいろな性質があることに驚いた。不思議だ。
- ・原理を説明してくれて楽しかった。
- ・すごく面白かった。
- ・自分の好きな作品ができうれしかったし楽しかった。
- ・発泡スチロールが製品全体の98パーセントが空気なのは初めて知った。



- ・ゴミになる発泡スチロールで表札ができてすごいと思った。
- ・空気を蒸発させこのようなものが作れるのはびっくりした。
- ・簡単で楽しかったし、知らないことがたくさんあった。
- ・絵具が膨らむと思っていたが、青いところがへこむというのを知ってびっくりした。
- ・ゴミになってしまうようなものでも再利用でき、学べるので楽しかった。
- ・コンロで焼いてでこぼこしてびっくりした。
- ・書いたところと書いてないところの変化が面白い。
- ・実験をしながら科学を学び、楽しく工作ができ、子どもも楽しそうだった。
- ・発泡ポリスチレンの様々な性質を、実験を通して知ることができ、貴重な体験で興味が持てた。
- ・身近な材料で、科学を楽しく学びながら3D表札を作る斬新なアイデアで、素敵なイベントの企画ありがとう。
- ・発泡スチロールのクーラーボックスを分解してやりたいといっている。
- ・教えてくださる皆さんが親切で学びやすい雰囲気でした。
- ・発泡ポリスチレンと絵具を使い、面白い作品ができるとは思わなかった。家でも作りたい。
- ・手品を見ているようで楽しかった。科学の話もありみんなでワイワイできて楽しそうだった。
- ・楽しい実験で考える力、習慣が身に付くきっかけになっている。活動に感謝。

【^{こと}箏にさわろう♪音楽を作ろう♪】

- ・琴に触ってみたら、思ったよりも弦が硬かった。
- ・つめをつけて引けて楽しかった。きれいな音になっていった。
- ・今度ひいおばあちゃんのところに行ってひかせてもらおうと思う。
- ・ひくだけだと簡単だったが、曲を考えると難しかった。
- ・初めての体験で、子どもは大変楽しんでた。
- ・琴にふれ、弾けるようになってよかった。
- ・先生も教えるのにとっても大変だと思うが、丁寧に教えてくれて、感謝。またこのような機会を作ってほしい。
- ・琴でいろいろな音を出せることを知った。自分で考えた音を協力して出せてよかった。
- ・琴に触れる機会がなかなかないので、とてもいい経験だった。
- ・参加した友達や先生と楽しく琴を体験できにこにこで終わることができた。



【アニメーションダンス・チャレンジ教室】

- ・いつもよりすごく楽しかった。
- ・本物のプロのダンスをまじかに見られてうれしかった。
- ・ダンスのテンポが速く難しかった。
- ・ダンスが好きだったので楽しかった。いい経験になった。
- ・わかりやすく教えてくれたので、少しくまくなった気がする。
- ・思っていたものよりも本格的で楽しかった。
- ・いろんなジャンルをやったけど、アニメーションダンスができてうれしかった。



- ・わからないことがあったが、ちゃんと細かく教えてくれてうれしかった。
- ・動きを少しずつ教えていただき保護者から見て面白かった。
- ・一つできたダンスの技を先生がとてもほめてくださり、それがとてもうれしかったようだ。
- ・とてもいい経験ができ、ありがたい。
- ・とても難しそうだったが、子どもの覚えが早く驚いた。ストレッチはかなり気持ちよかった。
- ・初めてで本人は大変そうでしたが、楽しめた。

第2部 みんなで情報交換会

土橋小・井田中の2つの寺子屋の実践報告に続き、14のグループに分かれて、寺子屋同士の情報交換会を行いました。各寺子屋でコーディネーターや寺子屋先生として関わっている方、寺子屋の体験活動に協力をしている方、これから寺子屋に関わろうと思っている方など、色々な立場から、普段の活動で感じている悩みや、他の寺子屋に聞いてみたいことなど、意見交換しました。意見交換の結果は、グラフィック・コミュニケーターの文谷さんに、素敵なグラレコにまとめていただきました。



【1班】

低学年のグループが落ち着かないのだけれど、どうしてる？

- ・落ち着かない子には先生を専属で一人つけることでうまくいった。
- ・徹底的に叱る。面倒見の良い子に対応してもらおう。それでもダメな場合は、学校教員（児童支援コーディネーター）にお願いしたこともあった。
- ・最初の15分は自主学習を行い、その後にマジックをやることで、子どもの関心・共通意識が生まれた。また、さわぐ子が関心を持つような課題を用意する。
- ・子ども自らに考える、気づかせることが必要だと思っている。

- ・寺子屋を5年も続けるとマンネリ化してくる。子どもの好奇心を沸き立たせる工夫が必要。
- ・寺子屋するようになって、自分でも面白い課題はないか調べるようになった。



【2班】

子どもはかまってもらいたい。

- ・楽しい時間を作ることを大事にしている。
- ・わざとけんかして、興味を向かせているのではないか。両親が忙しいので甘えたい。
- ・学校では勉強を教えるが、寺子屋では一緒に考える。という考えでよいのではないだろうか。
- ・道で「先生！」と呼んでくれるのはうれしい。
- ・保護者からはお金を払ってもやってほしいという声も聞く。
- ・昨年は1教室で実施していたが、今年度は2教室で実施することとなり、スタッフの数が足りない。子ども5人に対して大人1人ぐらいつくと良いと思う。

JAXAのプログラムが一番人気のある体験活動

- ・グラウンドや校庭を使い、多くの親子に参加してもらっている。
- ・ロケットに興味をもった理由から話すようにしている。
- ・材料に関しては JAXA から出ているので無料。
- ・宇宙飛行士と通信ができるプログラムもある。やってみたいが費用がかかる。
- ・寺子屋の委託料もあるが、参加者から集める方法もある。

寺子屋をはじめたきっかけは？

- ・子どもが学校を卒業し、元 PTA 役員などで団体を作り、その人達に誘われた。
- ・自分自身が楽しく、子どもを見ているとエネルギーをもらえる。
- ・自分が本を読んでもらった経験がないので、子ども達にしてあげたいと思った。喜んでもらっている。
- ・楽しくなければ続かない。
- ・人づてで、仲間を誘う。知っている人から誘われると心配なく受け入れられる。
- ・自分の子どもは大きくなってしまったが、小さい子がかわいいので行っている。



【3班】

寺子屋の運営で苦労することは？

- ・寺子屋では、子どもとの関わりと共に育っている。
- ・熱意をもって寺子屋先生が取り組もうとしているが、夏休み明けから、参加する子どもの数が少なくなってしまう。子どもの集まりにむらがある。
- ・学習支援を、2教室で同時に開催しているが、運営が難しい。先生を交代させながら運営している。
- ・自分の住んでいる野川地区にはまだ寺子屋がなく、子どもたちにその機会がないので、何とかその機会を与えてあげたいと思う。

人材バンクがほしい

- ・地域にはたくさんの優秀な方がいるので、その情報を一つにまとめたい。そうすることで、子ども会、町内

- 会、PTA、寺子屋などの企画や学校行事、学校の総合の時間にスムーズに対応できるようにした。
- ・学校の先生が矢面に立つと大変になる。何かの際に、人材バンクを利用できるようになれば良い。
- ・キャリア教育で6年生に対して講師を頼まれることがある。今は宮前区に住んでいるが、高津区の小学校から声がかかる。学校の先生も転勤して、信頼ある人に頼んでくるが、地域に人材バンクがまとまっていれば同じ区内で活動できるのではないか。



【4班】

コーディネーターが苦勞していることは？

- ・子どもたちに手紙を渡すが、保護者は見てくれないし、親とのつながりはあまりない。
- ・学習プリントの準備に追われ、管理が難しい。配り方や保管など。
- ・体験のチラシの作成と配付に時間がかかることもある。
- ・(学習教室後半の) お楽しみタイムを考えることも大変。
- ・月に3回くらいコーディネーターで相談しているが、連絡は SNS を使い情報を交換しているので大変ではない。
- ・立ち上げには時間がかかった。
- ・1人で運営した方が楽な部分もある
- ・中学の寺子屋の運営は無理をせず、出来る範囲でと考えている。
- ・毎月、何か体験活動をしなればという使命感がある。
- ・学校の協力も大きい。寺子屋用の荷物置き場や特別教室は借りやすいなど。
- ・教えている我々も楽しくなるし、元気をもらえる。
- ・だんだん子どもたちの顔も覚えてくるので、それぞれの子どもが分かってくる。

寺子屋先生の確保は？

- ・養成講座を受けても登録しない人もいる。
- ・教育委員会と連絡を取り合って、養成講座の修了生を紹介してもらっている。
- ・立ち上げの際には元教員にお声掛けした。
- ・教えるというよりは教え合いを大切にしている。
- ・近隣の大学に寺子屋先生募集のチラシを置いてもらっている。子どもにとって大学生はお兄さんお姉さんなのでとても良い。



【5班】

寺子屋を子どもの居場所の一つに

- ・集中して勉強する子とプリントをやらずに邪魔する子がいる。場所の工夫を大人が行っている。
- ・学習と遊びの部屋を分けている。
- ・1対1対応を行い、話ができるようになってきた。
- ・遊びに来た子が、勉強が目的だと知ると来なくなった。
- ・6人テーブルに大人が一人つき、さらにフリーの寺子屋先生を用意している。
- ・年1回、学校との情報交換を行っている。

- ・ふざけてしまう子にとっても、受け皿だと考えている。
- ・寺子屋の形は地域によって様々であり、居場所としての色合いが強い寺子屋もあれば、学びの色合いが強い寺子屋もある。
- ・「ほめ方」「しかり方」を運営側で意思統一している。
- ・開講日、子どもが爆発し大騒ぎになった。ルールをしっかりと作っていききたい。
- ・子どもが司会進行を行うことに慣れてきた。気持ちよく勉強する場ということをブレずに守りたい。
- ・子ども達にも来ている意味や意義があるはず。保護者と面談してみてもいいのではないかな。



【6班】

遊んでしまい学習が進まない子どもがいて困っているのだけれど、どうしてる？

- ・夏休み明けは騒いでいることが多かった。座らず立ち歩いていた。
- ・夏休みモードが戻らないのか？うちは特に2年の男子が座らない。その子達につられて騒ぐ低学年。5・6年の女子は勉強はやりたくないが寺子屋に来る。本を読んだりしているが、そのことに対して規制せず、来ることがまず第1だと考えている。
- ・寺子屋は、学校の先生、親以外の人とのふれあいが良いと思う。
- ・年度、学年によっても異なる。今年は騒がなくなった。
- ・始めは1時間しっかり勉強を見ていたが、30分が限度。今は後半30分はお楽しみ会にしている。
- ・うちは騒ぐ児童に男女の差はないが、強いて言うなら2・3年の男子。ひどくなれば注意するが、時間を切ることが大事。
- ・宿題やプリントが終わると、寺子屋先生がカードに確認の印を押している。後半のお楽しみ時間は折り紙なども行っている。
- ・騒いでいる子も休まず来ている。3年生30人、4年生30人は隔週、5年生10人と6年生2人は毎週で行っている。主に算数のプリント5枚を行う。
- ・子どもの席、スタッフの席は固定で、子ども4人に対してスタッフ1人にしている。
- ・遊びのプリントも行うこともある。(パズルやなぞなぞ等)

お楽しみの時間の内容についての意見交換

- ・お楽しみ時間に落語も行った。トランプや季節によって百人一首。体を動かすことも考慮して、けん玉など。
- ・お絵描きや読書など毎回4つテーマを決めていて、その中に「自習の時間」もある。前半の学習時間での宿題など本人が引き続き学習したければ「自習」を選べるように用意している。
- ・5・6年生にも後半のはじめに、絵本の読み聞かせを行い、集中させ、次の活動につなげられるように工夫。1・2年生には、竹とんぼ、けん玉も行っている。

子どもの安全確保

- ・真福寺小の寺子屋では昨年度 防災訓練を寺子屋の時間内で実施した。震度5以上の地震が起きたと想定し避難させる。校長先生、教頭先生にも参加してもらった。最短距離の避難経路を考えていたが、そこは両サイドガラスがあり危険であるので、遠回りしても安全な通路を通りグラウンドに出るようにした。また、避難する際にも靴は大事であるので、寺子屋先生達は皆常時、室内用の運



動輒で活動している。水曜日の放課後に学習教室をしている寺子屋が多いが、水曜日は教員も出張が多く、残っている先生が少ないこともあるので、寺子屋独自に安全対策を考えていかなければならないと思う。

- ・3年生の女の子同士で椅子を重ねた遊びをしていた時に、怪我をし、保健室で対応してもらったが、本来寺子屋事業の中での事は、もちろん学校側も協力するが、学校に持ち込まず対応してほしいと言われた。
- ・ルールを作ろうと思っている。豆を使ったゲームを行っていた時に、豆を耳に入れてしまった児童がいて、母親に連絡して来てもらった。



【7班】

寺子屋に参加して感じること

- ・子どもがやりたいことをテーマに選んだり、学習支援の時にちょっとイベントを行ったりしている。
- ・子どもとの接点がなかったので緊張している。
- ・走り回る子は、本人が寺子屋に来たいと思っているのかどうか相談し、保護者に連絡をする。
- ・なるべく大勢の子ども達に参加してもらいたい。高学年の子ども達を増やすにはどうしたらいいのだろうか。
- ・寺子屋は子どものためなのか、地域のためなのか、両方を取ると始めは難しいのではないのか。

【8班】

どんな工夫をしている？

- ・理科実験などを行っているが、異学年だと教えるのが大変だった。
- ・「宿題を終わらせてから帰る」が約束になっている。土曜の体験活動が人気。
- ・学習の節目節目にゲームを取り入れたり、子ども達が寺子屋先生に向けて紙芝居を読むこともある。ほめることを大切にしている。
- ・今まで夏休みに地域の方の力を借りて、体験活動を一斉に行っていた。今年から寺子屋事業に取り入れ、時期を分散し、手探りではあるが、地域の方々も関わってくださっている。
- ・長野から真田陣太鼓を呼んだが、親子で実際に叩くなど好評だった。

学習タイムで子ども達の集中が続かず、ネタ切れになってしまう悩み

- ・最後の30分は遊びの時間と決めて、子どもたちが自分で遊びたいことを選ぶ形をとっている。
- ・最初の30分しか持たない子もいる。
- ・教室の畳で百人一首をしたこともあった。
- ・昔遊びやカードゲーム、ボードゲームを準備している。



災害対応の必要性

- ・子どもたちと一緒に避難訓練を試みた。どこまで子どもを預かるのかなどの問題点が見えてきた。
- ・訓練後、スリッパをはく寺子屋先生がいなくなった。
- ・集中豪雨があり、寺子屋先生に協力してもらい地域ごとに帰したこともあった。
- ・災害に備えておくことが必要。

【9班】

寺子屋に期待すること

- ・今年の6月に寺子屋をスタートした。学習支援は毎週水曜日。体験活動は、募集しても15～20人くらいし

か申し込みがなく。まだまだ子どもにも保護者にも寺子屋を知られていないのではないだろうか。3月に寺子屋先生も含めて振り返りと次年度の計画を考える予定。

- ・子ども達と大人が地域で顔見知りになって、つながりができるといい。
- ・親としても、地域との関わりの場が必要だと思う。
- ・体験活動で水引を教えている。水引は日本の伝統文化の一つなので、正しい水引をぜひ知ってもらいたい。また、自分で作ることでお子さんも保護者の方も喜びがある。



【10班】

活動を通して感じること

- ・寺子屋コーディネーターをしている。体験活動の参加者は多くないが、保護者はありがたがっている。参加者が少ないと、講師の先生に申し訳ない気持ちになるが、普段できない体験をやることに意味があると考えている。
- ・学習支援は、2・3年生に言うことを聞かない子がいる。ケンカがあったり、「勉強しない」と言って本棚に上る子がいたりする。迷惑行為は少しずつ減っているが、思う通りにならず悩んでいる。
- ・昔は、怒られたら親に「あなたが悪い」と言われたが、今は…。
- ・注意すると「それは脅しだよ」などと言ってくる子もいる。
- ・現在PTA会長をしている。学校の先生の忙しさを解消するために、寺子屋やPTA、地域ができることを手伝おうと思っている。学校のためになるし、やっている大人も楽しめる。
- ・小学校の寺子屋は、お楽しみで将棋やけん玉などをやっている。



中学校の寺子屋は難しい？

- ・中学校の寺子屋のコーディネーターをしている。勉強はそれほど難しくなく。特に一年生の英語は文法も簡単だし、単語も一般生活の中で使われているものが多い。
- ・普通の人々が中学校の寺子屋先生をやるのは難しいのでは？
- ・一度勉強したことがある人なら、教科書を見れば大丈夫だと思う。
- ・定期テスト前の部活動停止期間に学校で寺子屋を開催する場合と、平日の夕方に町内会館で開講する場合とがあるということだったが、それぞれ感じが違うの？
- ・学校は、下校が15:30で17:00には撤退しなければいけないので、正味1時間程度しかない。町内会館は時間をあまり気にせずにできる。
- ・町内会館の寺子屋の参加者はどんな感じ？
- ・部活がない月曜日の17:00からやっているが、その前に待っている子がいる日もある。来る生徒はまじめな子で、多い日でも6~7人。少ない日は2人ぐらい。参加者0人ということはまだない。勉強だけでなく、雑談をしながら寺子屋先生とコミュニケーションをとり、いい関係ができています。
- ・今の子は親と先生以外の大人を知らない。寺子屋で世代間交流をすると、子どもにとっても大人にとっても学ぶことが多い。

【11班】

寺子屋を立ち上げたばかり

- ・民生委員仲間で寺子屋を立ち上げた。初年度は100人の申込者があり、全員、毎週受け入れできるように同じ日に時間差をつけて実施した。85%の出席率で、満足している。
- ・学習支援はまだスタートしていないが、本日2回目の体験活動を行った。綿を入れて、スノーマンを作り楽しそうだった。
- ・コーディネーター養成講座を受講した。学習支援では寺子屋先生が、予習していく必要があるのかなと思って、大変そうな気がした。体験活動も準備が大変そうである。
- ・水引の体験活動を教えている。1時間程のプログラムで、小学1年生からできるので、親子で一緒に行っている。国際交流センターでプログラムをやらせていただいたことがきっかけで、今は、市民館や寺子屋からも声をかけていただいている。



【12班】

どんな風に活動している？

- ・学習支援は、参加希望者が多かったので、今年度から図書室と理科室をお借りして、2か所で同時に開講している。毎回、終了後に30~40分、振り返りの時間をとっている。
- ・今年6月から寺子屋に関わり始めた。何かの形で地域に貢献する活動がしたいと考えていた。
- ・学習支援後半のお楽しみの時間になにをするかが悩み。どんなことやろうかとか。
- ・寺子屋先生の層を厚くしたい。
- ・寺子屋先生は、他の活動に参加しても、顔を合わせる方が多い。



【13班】

子どもの居場所

- ・土橋小の寺子屋の事例報告を聞き、子どもの居場所づくりが大きなヒントだと思った。マンションの集会所は高齢者向けの企画が多いので、子どもの居場所と大人の「必要とされている」という気持ちの両方の居場所になるとよい。

寺子屋先生を増やすにはどうすればよいの？

- ・辞めていく方もいらっしゃるなので、絶えず新しい方を育てていく必要があるのだと思う。
- ・町内会の回覧板とか。
- ・寺子屋先生というと、ハードルが高いイメージがある。チラシだけでなく、口コミが必要ではないだろうか。
- ・老人クラブの囲碁クラブや工作クラブなどにも声をかけてみては？



子どもの参加率を増やすには

- ・大人の人数を増やすことが大事。見てもらいたい時に来てくれる大人がいないと、子どももつまらないから来なくなる。
- ・5、6年生になると塾に行く子が多い。

- ・ 1, 2年生は体験活動で楽しんでもらい、その子たちを学習の寺子屋に呼び込みたいと思っている。
- ・ 子どもたちは少ないと、大人に構ってもらえるので喜んでいる。
- ・ お楽しみタイムで工作を行ったが、家に持って帰っても続け好評だった。

【14班】

活動してよかったこと

- ・ 子どもの役に立っているボランティア活動ができて、うれしい。
- ・ 自分自身の生きがいになっている。
- ・ 地域の中で子どもたちや保護者にも挨拶をされ、知り合いが増えた。
- ・ 今の小学生の、はやりや考えが分かり勉強になる。

課題は？

- ・ 年に1度は学校の先生たちと情報交換の機会をもちたい。(ほめ方、しかり方など)
- ・ 顔なじみになってくると、なれ合いが出てしまう。
- ・ 難しい子どものへの対応をどうすればよいのだろうか
- ・ 勉強を教えたい人とそうでない人がいるので、寺子屋の中で話し合っていきたい
- ・ 子どもたちは寺子屋をどう思っているのか知りたい



【全体共有】

各グループで出された意見を発表していただいたところ、次のような悩みが共通してあるようでした。

- 子どもたちから声をかけてもらえて嬉しい反面、なれ合いになってしまうこともある。ほめる、叱るなど、どのように対応したらよいか。
- 元気すぎる(勉強しない)子ども達、どうしたらいいか。
- 年に一度でも、学校の先生と情報共有したい。
- 勉強を教えたい寺子屋先生と、交流を大事にしたいという寺子屋先生。各寺子屋先生の意識をどうやってひとつのものにしていくか。



そこで、いくつかの寺子屋から、同じような悩みがあるという現状や、アイデアを紹介していただきながら、市長や教育長にコメントをいただきました。

【寺子屋A】

今年11月に開講した。参加人数80名で、2年生と3年～6年生の2グループに分けている。

開講当初から子どもたちのパワーに圧倒。大人の声が届かない。2, 3回と回を重ねたら落ち着くかと思いきや、現在はヒートアップしている。席替えなどを行っているが、走り回ったり、みんなの邪魔をしたりする子がおり、注意をするが、どこまで注意をするか。体に触れないといった、ルールを守りつつ、どうしたらいいか困っている。子どもたちが普段どのように授業をしているのか学校に聞いてみたい。

【寺子屋B】

開講3年目。開講当初は、子ども達の声のエネルギーがすごくて、寺子屋先生の声が通らなかった。試行錯誤の中で、子どもたちに司会をやらしてもらい、始まりの挨拶をしてもらった。希望者を募るとたくさんの子が手を挙げた。



積み重ねると慣れが出てくる。学習の場であることが薄まる。寺子屋先生が妥協しないで、勉強する場であることを伝え、注意することを始めた。効果は出てきている。教育委員会が開催する養成講座で学んだことを原点に考えている。子どもの状態にあわせて、楽しく来てくれるか議論しながら、暗中模索している。

【寺子屋C】

うちの寺子屋もうるさい。前半30分宿題やプリント、後半30分は遊んでよいことにしているが、前半20分経ったぐらいから遊びたい子は、うずうずしている。30分経つと多くの子が遊びに来る。そのため、将棋やオセロなどをやっていたが、最近は長縄とびをやっている。うるさいのは治らないかもしれないが、帰る時に笑顔で帰ってもらいたい。



【寺子屋D】

開講して3年目。3・4年生がやんちゃで困っていたが、今の3つの寺子屋のお話を聞くと、そこまでの状況ではないと感じた。1時間学習だけをやっている。子ども達は最初から、勉強する場だと思って来ている。宿題ではなく寺子屋で用意したプリントを行っている。座席も先生も固定させて、習慣化している。ただ、3、4年の1、2名がうろうろしてしまうので、寺子屋先生が手をつないで行動している。学習が苦手な子もいるが、声をかけ、毎回来ている。毎回反省会をするが、テーブルごとに様子を聞き、様子を見て、子どもや先生を入れ替えている。5、6年は毎週実施しているが、プリントの準備が大変。1対1の対応を基本にしている。

【寺子屋E】

昨年度プレオープンして、今年度から本格実施。コーディネーター3人も、元PTA役員。昨年うちに、学習をきちんとやる場にするには、どのように教えると良いかなど、いろいろ考えた。養成講座で話も聞いたが、ファジーな方が良くて、寺子屋先生と子ども達で作っていくことがいいのだと思う。大人も子どもも、寺子屋に来ている意味、理由がある。きっと居場所として必要なんだと思う。



我々も悩んでいる姿を見せて、寺子屋先生達と一緒に考えればいいんだと思えた時に肩の荷が下りた。子どもクラブに関わってきた方から「子どもにけじめをつけさせるべきだ」という発言があったことをきっかけに、マンガを読んでいる子がいた際に注意するか、少し様子を見るか、先生達が本音で話し合うようになった。お互いの意見を聞きながら、すごくいい雰囲気で行っていると思う。ブレずに進めていきたい。

(福田市長から)

日頃から寺子屋の活動をしていただいて、本当にありがとうございます。本日も熱心に議論をしていただき、ありがたい。53通りのやり方がある。どれも正解で、どれも課題がある。参考にできるものはどんどん真似

してもらい、聞いただけでは分からない場合は、他の寺子屋を見に行ってもいいと思う。続けることで、スパイラルアップしてもらいたい。先日、オランダの副首相が「寺子屋を見たい」ということで、視察にいらした。「こんな素晴らしい取組はない。子どもも寺子屋先生も生き生きしている。オランダに帰って、ぜひ寺子屋をぜひやってみよう」とおっしゃっていただいた。皆さんの活動がいろいろな人に影響を与えている。他の都市でも興味を持ってもらっているし、海外でも興味を持ってもらっていることにびっくりしている。これからもぜひ、よろしくお願いします。



(小田嶋教育長から)

子どもたちはいろいろな姿を見せる。教室の姿が全てではない。家庭で見せない、学校でも見せない顔を寺子屋だけで見せているかもしれない。それは学校でも大事。寺子屋の様子を学校に伝えていただくことは、学校にもプラスになる。学校側からは個人情報等があり、話せないこともあるが、寺子屋の中での様子を、学校にお話いただくことでその子への理解を深めることができる。学校とのコミュニケーションの場が必要。寺子屋が始まった時は正直、学校としては、「また学校に何かしろというのか…」という警戒感があったと思う。しかし、スタートしてみると、地域の方が運営してくれて、学校はたまに相談に乗るくらいで、子どもが変わってきていると実感していることがあるのではないかなと思う。試行錯誤しながらいろいろなことをして、一年が終わると子どもたちが積極的に、明るくなったという話も聞いた。子どもが寺子屋に来て、心が解放されたり、大人と関わったりすることで、その子の良さがどんどん出てきたのではないかなと思う。日々の変化は小さいが、一年を通すと大きな変化になると思う。その変化を、寺子屋と学校と家庭で共有することがとても大事だと思う。回数ややり方など、課題はあると思うが、皆さんの積極的な取組で学校の理解も深まってきていると思う。学校側にも投げかけていきますので、皆さんからも投げかけていただければと思います。



【寺子屋F】

うちは毎週水曜日に学習支援を行っており、終わったカギを返しに行くときに、校長先生、教頭先生、教務の先生、コーディネーターの先生がいたら、様子をお話している。学校として個人情報を話せないことは分かっているが、こちらが真剣にやっていることは知っていらっしやるので、意見交換しながら行っている。寺子屋先生会議も年2、3回行いながら、どのように注意したらよいか分からない子には、学校側に積極的に相談してきた。



【寺子屋G】

年度の始めに学校に挨拶に行き、ご意見を伺っている。昨年は、1年間が終わった後に報告に行った。2年生のクラスが賑やかで、夏休み後にパワーアップしていたのでどうしたらよいか相談に行った。「学年、担任に聞いてみます」とのこと、その後、2年生の先生が様子を見に来てくれた。



年度が終わった後に、学校の中でもクラスが不安定だったことを聞き、出来れば情報を教えてほしかったとは思ったが、今年は学年の先生が、寺子屋のことも気にしてくれるようになった。

【寺子屋H】

うちの寺子屋は、おだやか。今は学校の先生が忙しいと言われており、負担をかけないようにと考えている。そのため、特別に時間をとってもらうことは素晴らしいとは思いますが、難しい時もある。寺子屋先生同士で子どもたちをよく見合っているのので、メッセージカードにして、子ども達の様子を担当の先生にお伝えできれば良いと感じた。



【寺子屋I】

子どもの安全について考えており、昨年から学習教室の時に防災訓練を行っている。寺子屋の活動中に、もし大きな地震が起きたらどうするか。水曜日は先生方も出張していることが多く、どこへどのように避難すればよいのか考えてみた。最短ルートで逃げればよいと考えていたが、その廊下は窓ガラスが多く、通常、学校では避難ルートとしていないことも分かった。避難訓練を通して、万が一の際を考えるようになり、今は寺子屋先生たちも常に運動靴をはくようにしている。



(小田嶋教育長から)

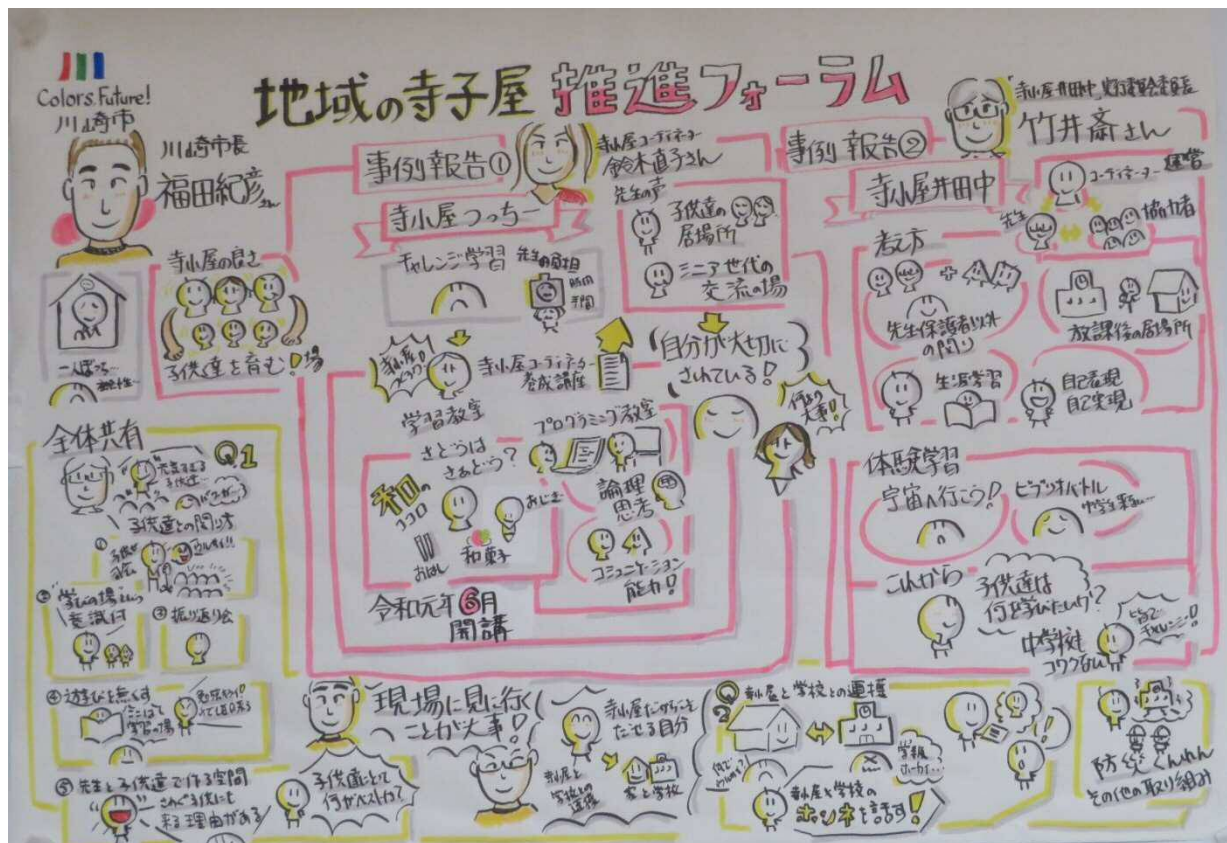
本日はありがとうございます。日頃からご協力いただきありがとうございます。平成の30年間は社会状況の変化だけでなく、教育に対する課題、教育に求められるものも大きく変化した時代だった。そのような中、平成10年頃から学級崩壊が話題となり、子どもたちの社会性の欠如で、昔は家庭や地域の中で自然に人のかかわりの中で学んできたことが、なかなかできなくなってきた。その変化に学校が対応できないことで、ひずみができ、学級崩壊が出てきたと言われている。川崎では、体験の不足を学校の中で補うために、平成22年から「かわさき共生共育プログラム」を小1から高3まで各学年で6時間ずつ実施している。しかし、それだけでは補いきれない部分がある中で、この寺子屋が子どもたちにとって、勉強だけではなく、教員たちとは違った地域の皆さんの子ども達へのかかわりが大きな力となっている。皆さんの熱意が大変ありがたい。様々な



ご苦労がある中で試行錯誤していただき、その中で続けることで見えてくるものがあるというお話がたくさんあったので、今日の情報交換会は意味のあるものであったと思う。ご苦労はあるが、子ども達が最初と最後で明るくなる、いい顔で入ってきて、いい顔で帰っていくことが大事で、帰るときの笑顔で救われるなど、笑顔の意味はいろいろあるが、積み重ね、学校と共有しながら今後ともご尽力いただければと思っています。引き続き、教育委員会も一緒に、この事業をより良いものにしていきたいと思っています。

第2部情報交換会の様子をまとめていただきました。

(By FACE Lab グラフィック・コミュニケーター 文谷隆さん)



アンケート結果

回収枚数 36枚

男性44. 4% ・ 女性55. 5%

(問) これまで寺子屋事業に関わる事業に参加されたことはありますか

1. 寺子屋先生、コーディネーターをしている 63. 9%
2. 寺子屋先生養成講座に参加したことがある 19. 4%
3. 市民館等で開催される寺子屋に関する学習会に参加したことがある 25%
4. はじめて参加した 16. 7%

<p>① 今回のフォーラムにどの程度満足されましたか</p>	<p>1. 満足 50% 2. どちらかというと満足 36.1% 3. どちらかというと不満 5.6% 4. 不満 0% 5. 無答 8.3%</p>
<p>② フォーラムに参加して、新たな気付きはありましたか</p>	<p>1. あった 69.4% 2. どちらかというと、あった 22.2% 3. どちらかというと、なかった 0% 4. なかった 0% 5. 無答 8.3%</p>

<p>③ 今回のフォーラムは、子どもや地域のことを考えるきっかけとなりましたか</p>	<p>1. なった 72.2% 2. どちらかという、なった 16.7% 3. どちらかという、ならなかった 16.7% 4. ならなかった 0% 5. 無答 8.3%</p>
<p>④ 今回のフォーラムで、寺子屋事業のことが分かりましたか</p>	<p>1. よく分かった 63.9% 2. どちらかという、分かった 19.4% 3. どちらかという、分からなかった 0% 4. 分からなかった 0% 5. 無答 13.9%</p>
<p>⑤ 寺子屋の活動に関心を持ちましたか</p>	<p>1. 関心を持ち、今後参加してみたい 33.3% 2. 関心は持った 25% 3. 関心を持たなかった 0% 4. 今までも参加している 27.8% 5. 無答 13.9%</p>

(参加者の感想)

- ・土橋小学校の報告に感動しました。私たちの人生体験や行動が、役に立つことがあると感じました。暇を持て余しているシニア世代の人がもっと関心を持ってきていいと思いました。私たちは日本の伝統を踏まえ、お茶、生け花、踊り、和楽器等々に加えて伝統を知ってもらいたいと思い、日本の伝統工芸である水引を指導していますが、現代に合った水引が若者に人気なのを考えて、新しい作品も次々に開拓しています。伝統を大事にしていきたいです。
- ・寺子屋養成講座を受けた人を早く、うまく使ってください。
- ・いろんな寺子屋の話が伺えて、同じような問題を抱えていて、それぞれの対応を知り、なんだかホッとしました。うちの寺子屋のやり方をみんなと探っていきたいと思います。
- ・課題を意識して寺子屋に参加している様子がよく分かった。子ども達のことを本気で考えていることを強く感じた。
- ・あらかじめ関係者の皆さんにアンケート・ヒアリングする等、用意するテーマをいくつか決めて、参加者が関心のあるテーマを選べるように分けていただいた方が良くと思います。体験学習と学習支援でも課題や悩みは全く違うと思いますし、各自が関心のあるテーマでディスカッションする場を望みます。個人的には、期待した成果はあまり得られませんでした。
- ・次回は、地教メンバー、他のコーディネーターも連れてきたいです。先生の連携について、教育長も「した方が子どものためにも、学校にも良い」と話されていました。働き方改革の中でも、そういうことに時間を取ることは大切であると、学校教育現場との意識合わせをお願いしたい。
- ・グループ内の人の声が聞こえない。ディスカッションのテーマは先に案内しておいた方がいいかもしれない。
- ・1、寺子屋毎の実施・実態を踏まえ、事務局にて個別の提案、改善等を指導いただきたい。
2、本フォーラムの開催時期について、一考願いたい。(年末を避ける等)
- ・今、気になっている点の答えが皆様から伺えたような気がします。又、安全について帰ってからぜひ実践したいと思いました。寺子屋の意義を改めて考えさせられたような気がします。
- ・参加者から意見を聞いて大変参考になりました。他の寺子屋の状況が分かりました。自分が見た感じでは、

昔の子ども達と変わっていないと思いました。

- ・どこの寺子屋でも元気印の子どもの対応の難しさが聞くことができた。又、対応のヒントを受けた思いです。
- ・ありがとうございました。情報交換とても良かったです。子ども達も大人達も大変にならない！楽しんでできると良いです。中学生を対象とした寺子屋、良いですね。外国の子ども達を対象とした寺子屋、実に良いですね。困っているご家庭多いです。
- ・各寺子屋の取り組みでのご苦労があり（騒ぐ児童対応）、大変なことと思うが将来どこかの寺子屋にスタッフで参加したいと考えています。その時、寺子屋先生養成講座を受講しておくことは必須なのでしょうか。
- ・情報交換会のみでの参加でしたが、いろいろ参考になりました。ただ、グループに分かれての話し合いの際、司会の職員の方よりも参加者のおひとりの方がリーダーのようになってしまい、ややおしゃべり会のようになってしまったのが残念でした。



フォーラム実施に向けて多くの方のご協力とご尽力をいただき、
またたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

